

令和6年度 事業報告

1 会議

(1) 役員会

- ◆第1回役員会 令和6年10月10日(木) 午後1時30分～
・令和6年度上半期事業報告について
- ◆第2回役員会 令和7年3月14日(金) 午後1時30分～
・令和6年度事業報告について

(2) 運営委員会(7回)

- ◆第1回運営委員会 令和6年 5月15日(水)
- ◆第2回運営委員会 令和6年 6月 5日(水)
- ◆第3回運営委員会 令和6年 7月 3日(水)
- ◆第4回運営委員会 令和6年 7月17日(水)
- ◆第5回運営委員会 令和6年 9月25日(水)
- ◆第6回運営委員会 令和6年10月23日(水)
- ◆第7回運営委員会 令和7年 3月 5日(水)

2 活動報告

(1) カバン型コンポストの普及啓発

資源循環の見える化の取組の一つとして、カバン型コンポストの普及を図るため、イベント等でカバン型コンポストの貸与申請受付・配布を行った。

カバン型コンポストのちらし



4/27・28・29 ガーデニングフェスタの様子



(2)「とよたマイボトラー」募集キャンペーンの実施

使い捨てプラスチック削減の取組の一つとして、マイボトル持参の普及を図るため、市民自身がマイボトル持参を広める「とよたマイボトラー」募集キャンペーンを実施した。

また、名古屋グランパスと連携し、試合会場でブース出展し、名古屋グランパスコラボマイボトルの配布を行い、多くの「とよたマイボトラー」登録につながった。

<実績>

「とよたマイボトラー」募集キャンペーン	実施期間：令和6年8月1日(木)～9月30日(月) ・「とよたマイボトラー宣言」登録 434名 ・Instagramの投稿数 36名(45件)
---------------------	---

キャンペーンちらし



8/11(日) 豊田スタジアムでのブース出展



(3) 手前どりの啓発

名古屋グランパスとコラボして作成した、食品ロス削減につながる「手前どり」啓発ポスターを食料品関係企業以外である豊田信用金庫へ市内店舗での掲示を依頼した。



(4) SNS の試行的運用による情報発信

広報やホームページでは情報が届かない市民への啓発として、Instagram で倶楽部の公式アカウントを開設し、情報発信を試行的に行った。

カバン型コンポスト使い方講座の案内を見て申込みをした方がいるなど、新たな媒体での情報発信の効果が確認できた。

(5) 出前講座の実施（8回）

多くの市民にエコライフを伝えるため、出前講座を実施した。

	日にち	申込者	講座名
1	4月30日	林丘幼稚園	牛乳パックコマ
2	7月19日	楽笑サロン	ビーズストラップ作り
3	7月24日	浄水小学校 放課後児童クラブ	牛乳パックコマ
4	8月1日	浄水小学校 放課後児童クラブ	びっくり箱
5	8月2日	浄水小学校 放課後児童クラブ	びっくり箱
6	8月7日	浄水北小学校 放課後児童クラブ	びっくり箱
7	8月9日	浄水北小学校 放課後児童クラブ	牛乳パックコマ
8	8月21日	浄水北小学校 放課後児童クラブ	牛乳パックコマ



(6) 新規会員の登録

カバン型コンポストの普及啓発などにより、生ごみの資源循環の推進に取り組む豊田市コンポストアンバサダー 3 名がとよたエコライフ倶楽部の会員となった。

イベント等でカバン型コンポストの貸与申請受付補助やコンポスト使用方法についての説明など、市民に近い立場で活動を行っていく。

(7) とよたエコライフ倶楽部フェスタ 2024

エコライフ（地球にやさしい暮らし）について、多くの市民の皆さんに興味を持ってもらい、その実践を後押しするため、とよたエコライフ倶楽部の活動紹介をしながら啓発を行った。来場者数約 500 名と多くの市民へ啓発を行うことができた。

ブース出展内容

① 雑紙分別ゲーム

- ・燃やすごみの中から雑紙（資源）を探してもらう体験型ブース。
- ・参加者には雑紙分別袋を渡す。

② 牛乳パックこま対戦

牛乳パックこま作りを実施。コマ作成ブースの横に対戦ブースを設置。

③ 出前講座啓発

エコライフ倶楽部のエコクラフト講座で作成したものを展示する。

④ リユース工房 PR ブース

- ・修繕前と修繕後の商品例を展示
- ・リユース工房での購入品活用事例紹介
- ・アンケートを実施し、参加者に景品を渡す

⑤ コンポスト啓発（生ごみ処理機 啓発）

- ・豊田市のバッグ型コンポスト無償貸与事業の啓発。
- ・貸与申請者にはその場でバッグ型コンポストを貸与する。（100 個）
- ・バッグ型・ダンボールコンポストの使い方実演
実際に運用中のコンポストを展示して、来場者に使い方を実演
- ・その場で申請してくれた人花の苗をプレゼント

⑥ マイボトル持参啓発

マイボトルを持参してきた先着 200 名に、コーヒーショップのコーヒー 1 杯無料券を配布。

⇒ マイボトルを持っていない人に対しては、スタンプラリーの景品でマイボトルがもらえることを伝えてフェスタに誘導

⑦ とよた・ゼロカーボンネットワーク啓発ブース

アンケートに回答で景品ゲット&TZCN 秋のキャンペーンの案内

⑧ 南山大学 SDGs サークル CLOVER ブース

豊田市内のリサイクルガラス工房 cocoro で作成したびんをアップサイクルした商品を展示

⑨ 食品ロス削減啓発ブース

- ・豊田市内の小学4～6年生から応募のあった食品ロス削減啓発ポスター受賞作品の展示
- ・とよた SDGs パートナーである藤岡南中学校2年生が作成したロゴマークのフードドライブのぼり旗の掲示

スタンプラリー

- ・イベントちらし裏面にスタンプ台紙を載せる。
- ・各ブースにスタンプを配置して、スタンプラリーを実施。
- ・回ったブース数に応じて、景品をプレゼント。
⇒スタンプ3個：愛菜家 or ごみ袋セット
⇒スタンプ5個：とよたエコライフ倶楽部×グランパス君 缶バッジ
⇒スタンプ8個：タンブラー（先着100名）



(8) イベント出展 (10か所・14日)

◆とよたガーデニングフェスタ 2024

開催日	場所	出展概要	啓発実績
4月27日(土) 4月28日(日) 4月29日(祝)	西山公園	・カバン型コンポスト 貸与申請受付 ・資源循環啓発 ・「eco グリーン」配布	約 200 人 ※ブース来訪者数

◆名古屋グランパス試合会場 (バロー様 フードドライブブース)

開催日	場所	出展概要	啓発実績
①5月11日(土) ②8月11日(日) ③9月22日(日)	豊田スタジアム	マイボトル啓発	約 200 人ずつ ※ブース来訪者数

◆ウェルネスフェスタ～in 豊田～ (スギ薬局様主催イベント)

開催日	場所	出展概要	啓発実績
7月24日(水)	豊田市民文化会館	・カバン型コンポスト 貸与申請受付 ・資源循環啓発 ・フードドライブ	約 100 人 ※ブース来訪者数

◆若園ふれあいまつり

開催日	場所	出展概要	啓発実績
9月29日(日)	若園交流館	・カバン型コンポスト 貸与申請受付	約 50 人 ※ブース来訪者数

◆浄水まごころフェスタ

開催日	場所	出展概要	啓発実績
10月26日(土)	浄水交流館	・カバン型コンポスト 貸与申請受付 ・資源循環啓発	約 50 人 ※ブース来訪者数

◆とよたものづくりフェスタ 2024 (わくわくワールド)

開催日	場所	出展概要	啓発実績
10月27日(日)	スカイホール 豊田	牛乳パックこま作り	約 350 人 ※ブース来訪者数

◆朝日丘ふれあいまつり

開催日	場所	出展概要	啓発実績
11月3日(日)	朝日ヶ丘 交流館	・カバン型コンポスト 貸与申請受付	約 50 人 ※ブース来訪者数

◆エコットフェスタ

開催日	場所	出展概要	啓発実績
12月8日(日)	エコット	・カバン型コンポスト貸与申請受付 ・資源循環啓発 ・牛乳パックこま作り	約 200 人 ※ブース来訪者数

◆浄水駅前マルシェ

開催日	場所	出展概要	啓発実績
12月22日(日)	浄水駅前広場	・カバン型コンポスト貸与申請受付 ・資源循環啓発	約 50 人 ※ブース来訪者数

◆WE LOVE とよたフェスタ

開催日	場所	出展概要(予定)	来場者数見込み
3月16日(日)	スカイホール 豊田	・カバン型コンポスト貸与申請受付 ・資源循環啓発 ・「eco グリーン」配布	約 100 人 ※ブース来訪者数

(9) とよたエコライフ倶楽部通信の発行

8月に「とよたマイボトラー」募集キャンペーンちらしを、10月「とよたエコライフ倶楽部通信」を発行し、自治区回覧を含め、全倶楽部会員へ送付した。



「とよたマイボトラー」募集キャンペーン

とよたエコライフ倶楽部通信



3 令和6年度の振り返り

(1) とよたエコライフ倶楽部フェスタでのアンケート結果（回答者 155 名）

①来場者の属性

・居住地区について

来場者のうち 92%が豊田市在住であった。
多くの豊田市民に対してエコライフの推進
を実施できた。

・年齢区分

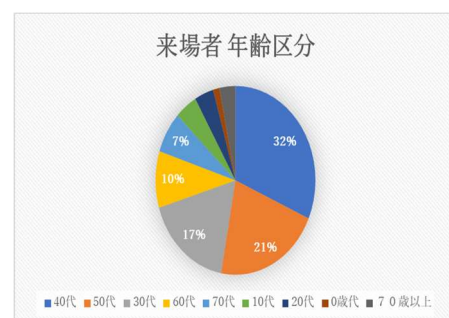
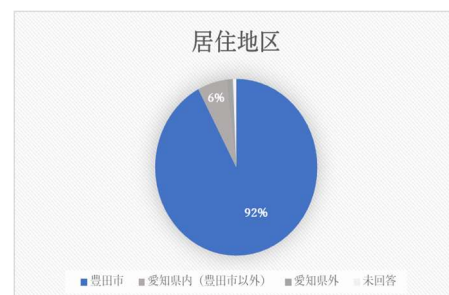
当イベントの来場者ターゲットとした
30代～40代の小学生以下の子どもを持つ親
に対して、来場者の年齢区分は以下である。

40代：32%（49名）

50代：21%（33名）

30代：17%（27名）

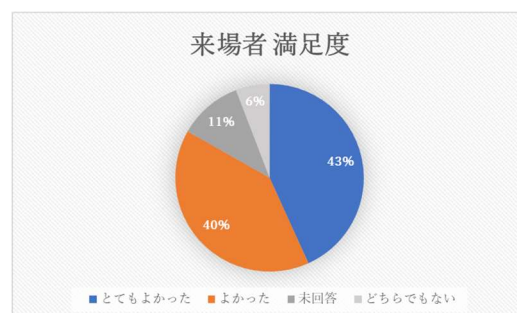
家族構成のヒアリングができていないが、回答
者のうち約 50%がターゲットの年齢区分である。



②イベント満足度について

8割以上の来場者が「とてもよかった」「よかった」と回答。
非常に来場者の満足度も高いイベントであった。

満足度	回答数
とてもよかった	67
よかった	62
未回答	17
どちらでもない	9



③良かったと感じる出展ブースについて（複数回答可）

ブース名	得票数
ざつがみ分別ゲーム（雑紙分別啓発）	72
マイボトル持参（マグボトル・コーヒー1杯無料）	41
コンポスト&堆肥（ecoグリーン・グリーンエース）	39
牛乳パックこま作成&対戦	33
リサイクルガラス作品展示（南山大学SDGsサークル CLOVER）	31
リユース工房10周年（リユース）	26
とよた・ゼロカーボンネットワーク	19
食品ロス削減啓発（とよたタバスケ・ポスター応募作品掲示など）	15
出前講座 展示	12
特になし	1

ざつがみ分別ゲームのブースが良かったと感じる来場者が最も多い結果となつた。とよたエコライフ倶楽部の令和6年度の事業計画にも含まれている「マイ

ボトル持参の啓発」「コンポストの普及啓発」に関するブースの満足度が非常に高く、当倶楽部の事業成果として非常に良かった。

●来場実績について

来場者数	約500名
スタンプラリー参加者（景品交換数）	229名
マイボトル持参 参加者	145名
カバン型コンポスト 新規貸与申請数	76名
とよたマイボトラー 新規登録者数	81名

来場者の約半数がスタンプラリーの景品交換をしている＝複数ブースを回っている結果になっており、複数の環境配慮行動に興味を持つきっかけを提供できた。

（２）倶楽部事業活動での気付きなど

- ・倶楽部フェスタのアンケートで一番良かったブースと感じた方が多かった雑紙分別啓発では、イベント中のゲーム参加者の声を聞いていると、「資源になると知らないものが多くあった」「ずっと燃やすごみに入れていたが、これからは雑紙として分別したい」などといった声を実際に聞いた。市でも啓発をしているが、まだ市民には雑紙分別の周知が行き届いていないことを実感した。分別を口頭で説明するだけではなく、体験型のゲームを行いながら説明を行うことで、市民の今後の環境配慮行動の促進にもつながることがわかった。
- ・生ごみを堆肥化するコンポストに関する普及啓発活動では、コンポストでの堆肥化の実演や、豊田市の緑のリサイクルセンターで作っている「eco グリーン」とともに資源循環の啓発ができた。実際に使用している状態のコンポストを見て、実際にやっている人（豊田市コンポストアンバサダー）の話を聞けることで、簡単に手間がかからず継続できるという実感してもらうことで、カバン型コンポストの貸与申請につながっていると感じた。
- ・マイボトル持参の普及啓発活動では、とよた・ゼロカーボンネットワークと協力して「とよたマイボトルチャレンジ」と題したマイボトル持参キャンペーンを実施、市民と共働して啓発が行えるよう「とよたマイボトラー」の登録を行った。「とよたマイボトラー」登録者数は400名超となり、今後も定期的にメール連絡できる仕組みづくりができた。
- ・出前講座は、ごみの分別に関するミニ講座と工作やワークショップを通じて、エコライフを伝えることができ、参加団体からも高い評価を得た。
- ・11月に実施した「とよたエコライフ倶楽部フェスタ 2024」では来場者数が約500人と多くの市民に環境配慮行動促進及びごみ減量に関する啓発活動を実施できた。若年層と連携したブース出展もし、若年層の行動変容につながる効果的な啓発事業を実施できた。
- ・生ごみ処理機器の普及促進事業については、イベント出展時に生ごみ処理機をサンプルとして展示して普及啓発を図ることができた。

4 令和7年度の活動に向けて

- ・様々な属性の市民啓発ができるように、ともに活動する連携先の増加を目指す。
- ・紙資源の分別や食品ロスの削減などについても、市民を巻き込んだ取組を新たに実践できるよう検討を進める。
- ・さらなるエコライフの推進に向けて、とよたエコライフ倶楽部団体会員と連携した啓発事業の検討を進める。
- ・啓発を効果的かつ効率的にできるように、情報発信ツールとして SNS の利用を継続的に検討・実施する。
- ・令和6年度の事業実施での気づきから、さらに活動を重点的に行っていくための部会を設置し、引き続き環境配慮行動促進事業及びごみ減量に関する啓発活動を継続しながら、活動の深化を図る。